

タイムラインとは??

平成27年7月21日(火)
多治見市タイムライン検討会

タイムライン（事前防災行動計画）の概要

経緯

- 2012年のハリケーンサンディに対する米国の対応調査で得られた知見
- ニュージャージー州は大規模な高潮浸水被害が生じた地域であったが、タイムラインに基づいた事前行動により被害を最小限（犠牲者ゼロ）に抑えられた
- 米国におけるタイムラインは、ハリケーンを対象とした防災行動計画であり、法体系や行政機構も異なるためそのまま日本に適用することはできないが、理念や思想は参考にすべき

タイムラインとは

- 自治体・関係機関・地域住民・民間団体等の各主体が、災害の現象やリスクを共有し、災害（警戒）時に迅速・円滑・的確に対応できるよう「いつ」「誰が」「何を」するのかを時系列にとりまとめた事前防災行動計画

対象とする災害

- 事前の行動猶予時間がとれる災害
（風水害、土砂災害、高潮災害、暴風雪災害）

防災の取り組みにおける課題

★既存の防災計画や取り組みは「災害発生後にどうするか？」ということに主眼



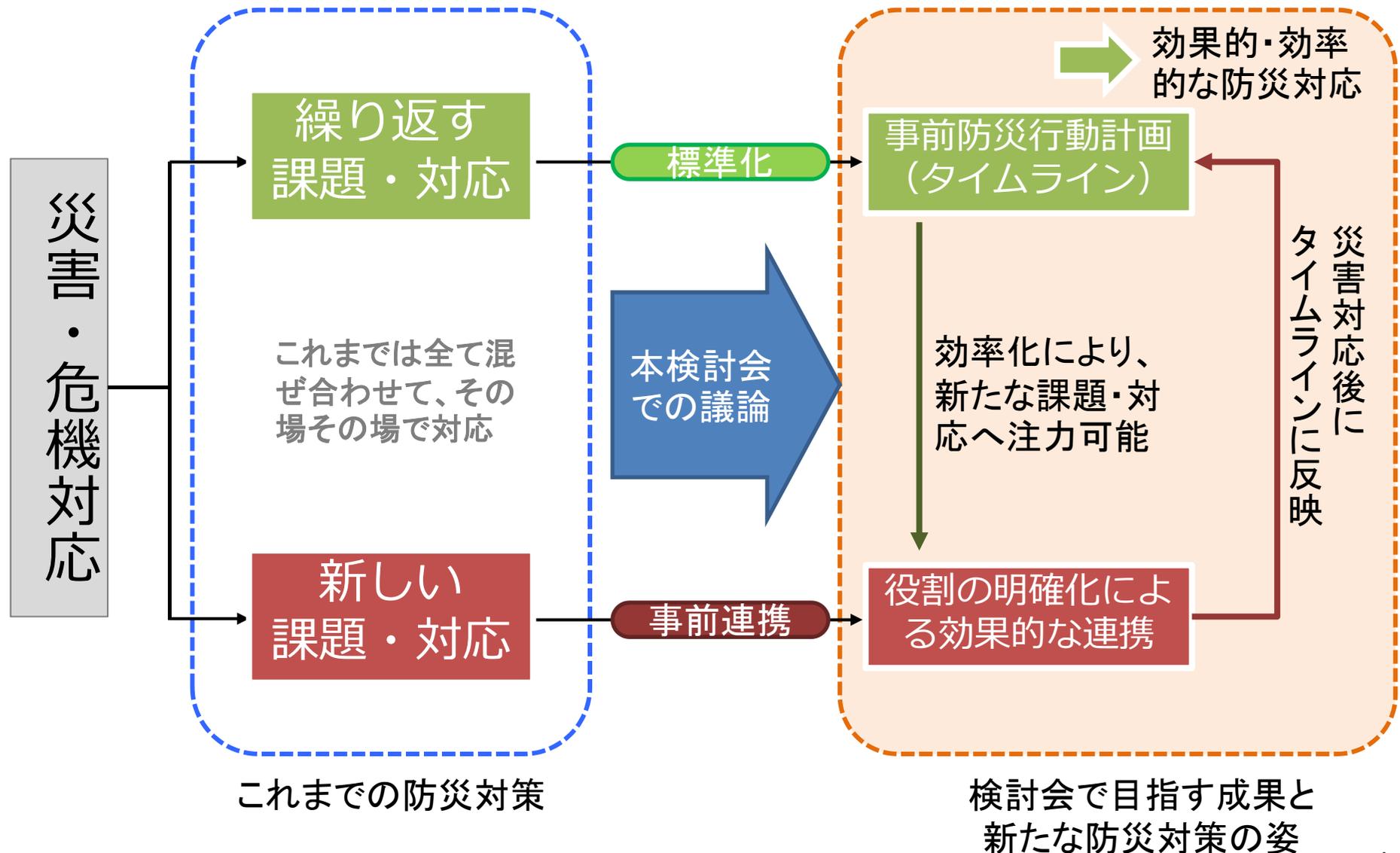
★災害発生前にも様々な対応を行っているが、下記のような課題を有している

課題 1. 各機関等で事前対応はしているが具体内容は明文化されていない
(防災対応は経験則に頼り、引継ぎが難しくなる)

課題 2. 各行動内容に対する機関や部署の役割分担が曖昧な部分が存在
(あいまいな部分は防災担当部局や消防(団)等へ集中しがち)

課題 3. 関係機関で調整が必要な行動や事項はその都度、調整している
(調整のための労力や時間を消費)

本検討会の目的と方向性



タイムラインの取り組みによる効果

平成26年出水期におけるタイムライン試行後の紀宝町職員からの意見

- 事前防災行動計画によって、**余裕が生まれ**、その後の対策の安心に繋がった。
- すべての判断を総務課(防災担当)に委ねることなく、**必要な行動をそれぞれが判断して実施**し、実施結果と次の行動予定が総務課に報告されるようになった。
- **チェックリストとして活用**し、行動の漏れが無くなった。
- 連携調整会議に参加する**主体、機関間での対応や行動の共有**ができたことが効果的であった。
- 河川管理者や気象台の一步踏み込んだ情報提供が役立つ。余分な行動がなくなり、**意思決定が容易**になった。
- 防災無線の事前広報や地区の危険性を伝えるなどの広報が**早めの備えに繋がり**、**早期避難を実現**できた。
- **役場がどんな状況にあるかよく見えた**と住民からの声があった。
- 合併後の垣根が取り払われ、**役場内での円滑な対応**が図られた。
- 要援護者対応、民生委員の対応が**雨の中の対応**にならず余裕が持てた。

